

研究機関：広島大学

研究課題名	口腔管理の標準化にむけた口腔内アセスメントの有用性についての検討
研究責任者名	医歯薬保健学研究科歯周病態学 教授 栗原英見
研究期間	平成 29 年 5 月 30 日(倫理委員会承認後)～平成 34 年 3 月
対象者	承認日から平成 32 年 3 月の間に、医科治療中の合併症を予防する目的で、広島大学病院口腔総合診療科において口腔管理・口腔ケアを受けられた患者。
意義・目的	お口の中にある感染の元(虫歯や歯周病、口内炎など)を治療すると、傷口の感染や手術後の肺炎などの合併症が予防できることが明らかとなっています。今後、効果的に合併症を予防するためには、正確にお口の状態を評価し、病気との関連を検証することが必要です。そこで今回、本院で作成したお口の評価表を用いて病気とお口との関連を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は、身長、体重、性別、血液検査(白血球数、好中球数、CRP、Hb、HbA1c、CRE、Alb など)、治療中に生じた肺炎等合併症の有無、口腔内の状態です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	特にありません。
試料・情報の管理責任者	広島大学 教授 栗原英見
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5744 広島大学病院口腔総合診療科 助教 西 裕美